



月刊 少子高齢社会を見守る知恵とテクノロジー最前線レポート

みまもり未来プレス

■発行所／(株) びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2025年10月23日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

23.OCT.2025
10月23日号
 通巻100号

阪神電気鉄道

<https://www.hanshin-anshin.jp/gps2/>

子どもの安全をより長く、より確かに ～新型「ミマモルメ GPS2」が登場～

阪神電気鉄道(大阪市福島区)『グループの『ミマモルメ(同区)』は、子どもの現在地を保護者が確認できる「ミマモルメGPSサービス」において、新型端末『ミマモルメGPS2』を開発し、予約受付を開始した。サイズや重量は従来機とほぼ同等ながら、バッテリー容量を約3倍に増強。充電なしで最長1か月以上の連続稼働が可能となった。今回のモデルでは、従来のGPS測位に

端末は小型軽量、持ち歩く負担を感じさせません！



50×50×16.5mm (50g)

加え、新たにアシストGPS(A-GPS)機能を搭載。これにより、屋内や高層ビル街など電波が届きにくい場所でも、より早く正確に位置を特定できるようになった。専用アプリを通じて、保護者は子どもの登下校や外出時の位置情報をリアルタイムで確認できる。

さらに、「登下校ミマモルメ」のICタグと併用することで、学校の出入りを確実に見守ることが可能。自宅から学校までの

経路を把握でき、日々の通学をより安全にサポートする。セット契約により、GPS端末をお得に利用できるプランも用意されている。

料金は、初期登録料5,800円(税込6,380円)、月額使用料580円(税込638円)。同社が提供する「登下校ミマモルメ」「まちなかミマモルメ」などとセットで契約する場合は、

月額480円(税込528円)に割引される。現在は新端末発売を記念したキャンペーンを実施中で、2026年5月22日まで初期登録料を3,800円(税込4,180円)に引き下げている。

ミマモルメGPS2は、これまでの利用者からの「もう少し充電が長持ちしてほしい」「子どもの動きがすぐ分かるようにしてほしい」といった声をもとに改良されたモデル。充電頻度を減らし、日常的に持ち歩きやすくすることで、より多くの家庭が“安心のある毎日”を実現できるよう設計されている。

同社は「ICT技術を活用した地域見守りのインフラとして、子どもたちが安全に成長できる社会づくりを進めたい」としており、今後も利用シーンの拡大を目指す。子どもの居場所を“そっと見守る”安心のパートナーとして誕生した『ミマモルメGPS2』。

テクノロジーの進化とともに、家族の絆を支える新たな見守りツールとして注目が集まっている。

**シニアが元気になると
 日本が元気になる！**

**元気シニア倶楽部
 会員募集中!!**

— 入会費・年会費なし —

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
 tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



JR 成瀬駅に無人決済型ファミマ誕生

～“省人化×時短”で次世代の買い物体験を～

ファミリーマート(東京都港区)は、無人決済システムを導入した新店舗『ファミリーマート JR成瀬駅／N店』(東京都町田市)を10月15日にオープンした。システム開発は『TOUCH TO GO(東京都港区)』が担当し、JR東日本の駅構内では4店舗目の展開となる。

天井カメラとAI解析によって入店者と購入商品をリアルタイムで認識し、出口付近の端末に自動で金額を表示。利用者はバーコード決済、交通系IC、クレジット、現金で支払いができ、短時間で買い物を終わらせる。通勤客

の多い駅構内で、“待たない買い物”を実現した。

また同店舗では、省人化をさらに進めるため、『セイノーホールディングス(岐阜県大垣市)』傘下の『LOCCO』と『リビングプロシード』に商品運搬・陳列を委託。物流専門企業と連携した効率的な運営モデルで、人手不足への対応と持続可能な店舗運営を目指している。

ファミリーマートは2021年から無人決済型店舗の展開を進めており、今回で全国53店舗目。オフィスビルや学校施設などにも出店を広げている。

同社は「お客様一人ひとりに寄り添い、便利の先にある“なくてはならない場所”を目指す」としており、技術と人をつなぐ“新しいコンビニのかたち”を発信していく。



<https://ttg.co.jp>

免許不要の4輪モビリティ「CURIO Q1」初公開

免許返納後の新しい足として

『キュリオ(岐阜市)』は、免許不要で乗れる4輪パーソナルモビリティ『CURIO Q1』の最新プロトタイプを、10月29日から東京ビッグサイトで開催される『Japan Mobility Show 2025』で初公開する。

「特定小型原動機付自転車」規格に適合し、歩道走行にも対応。自動車部品メーカー『豊田合成(愛知県清須市)』の技術支援を受け、4輪構造による高い安定性と家庭用100V電源での充電を実

現した。充電コストは約120円で50km走行可能。

当初は免許返納後の高齢者を想定して開発されたが、宅配や観光、ゴルフ場など用途が広がっている。直感的に操作できる専用ハンドルを採用し、軽量で扱いやすく、日常にも業務にも適したサイズ感が特長だ。

展示会では、これまでの試作で得た改良点を反映した「#5号車」を公開予定。開発責任者の高橋陽介代表は「免許がな

くても安心して乗れるモビリティを通じて、誰もが“自分の足で動く喜び”を感じられる社会を目指したい」と語る。

シニアの外出支援から地域配送まで、ラストワンマイルの新しい選択肢として注目が集まりそうだ。



<https://www.curio-inc.co.jp/>

アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**
ヒント

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第97回

投資に興味ありますか？

このところ株価が最高値を更新しています。今だったら損することなく、株で儲けることができますよ！その方法とは……。

と、ここまで読んで興味を持たれた方、注意してください。それが詐欺の常套文句です。

株式への投資だけでなく、顧客から集めた資金を運用するふりをして、実際には運用せず、そのまま配当に充てる「ポンジスキーム」という手法があります。初期の顧客は実際に「配当金」名目でお金を貰えるため、信用してさらに出資額を増やしたり、また知り合いを勧誘するケースも多くなります。

でも、次の客から集めた資金を前の客の配当に充てるとこの繰り返りです。出資者が増えて

新たなお金が集まらなくなると当然行き詰まり、多額の損失を被ることになります。

お金を増やしたいとの思いにつけ込み、架空の儲け話などでお金をだまし取る犯罪について、警察庁は利殖勧誘事犯として集計していますが、2024年は3310件の相談があり、年代別でみると近年は60代以上の高齢層が増える傾向にあるそうです。49件が検挙され、被害額は約1,800億円。検挙されたとしても、破綻すればお金が戻ってくる可能性はほとんどありません。少ない年金に不安を感じてついつい手を出してしまう高齢者が多いのかもしれない。

被害にあわないために重要になるのが、批判的思考力（クリティ

カル・シンキング）だそうです。情報をそのまま信用するのではなく、いろいろな方向から見て、根拠を確かめ、別の可能性を考えてみる。特に最近はSNSの発達で個人が、根拠のない情報を発信することも増えています。まずは自分自身で防衛する力を持ちましょう。



* 画像はイメージです

Author／林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310



買い物支援と見守り活動を一体化

～「とくし丸」盛岡市で今冬より運行開始へ～



「地域安全に関する協定」締結式 2025年10月20日(月)

『オイシックス・ラ・大地(東京都品川区)』グループの『とくし丸(徳島県徳島市)』は、岩手・宮城・青森で食品スーパーを展開する『ベルジョイス(岩手県盛岡市)』と提携し、2025年12月初旬より盛岡市で移動スーパー「とくし丸」を開業する。高齢化率30%を超える地域で、買い物支援と見守りを兼ね

た活動を進める。

開業に先立ち、10月20日には盛岡西警察署で「地域安全に関する協定」締結式が行われ、盛岡西警察署署長・永澤幸雄氏、ベルジョイス会長・小苅米秀樹氏、販売パートナー・徳山和也氏、とくし丸代表・新宮歩氏らが出席した。



移動スーパー「とくし丸」

■ 移動販売で「買い物困難者ゼロ」をめざす

「とくし丸」は軽トラックに約400品目の商品を積み、全国で約18万人の利用者に食材を届ける移動スーパーである。販売パートナーが週2回ほど自宅前まで訪問し、商品の販売とあわせて地域の見守りも担う。体調の異変に気づいた際には関係機関と連携し、救命につながった事例もある。

自治体や警察と協定を結ぶことで、福

祉・防犯活動との連携が進み、特殊詐欺防止や熱中症対策などの啓発活動にも貢献。2024年には消費者庁長官表彰を受賞している。

■ 盛岡での新たな取り組み

盛岡市では総人口28万人のうち高齢者が8万2,000人を超え、高齢化率は30.1%と全国平均を上回る。ベルジョイスは「アークス青山店」を拠点に1号車を運行し、地域に密着した買い物支援を展開。小苅米会長は「地域の安心を支える存在を目指す」と語る。販売パートナーの徳山氏も「免許返納後に不便を感じる方の力になりたい」と意気込む。

■ 地域に根づく“走るスーパー”

「とくし丸」は現在、全国143社のスーパーと提携し、47都道府県で約1,200台を展開(2025年10月時点)。運営母体のオイシックス・ラ・大地は、サステナブルリテールを掲げ、食と地域課題の両面から社会的価値を創出している。

ベルジョイスでは今後、岩手県内で新たな販売パートナーを募集。未経験者でも開業研修があり、地域貢献と安定収入の両立が可能としている。

移動販売を通じて地域に笑顔を届ける「とくし丸」。盛岡の新しい冬は、走るスーパーから始まる。

「食」を真剣に考えるひとのための資格！



www.flanet.jp

食生活アドバイザー®の活躍のフィールドはとっても広い

- 生産、流通、販売などの現場で
- 医療、福祉などの現場で
- 飲食の現場で
- 学校、家庭などで

一般社団法人

FLAネットワーク協会 (Food & Lifestyle Adviser)

食生活アドバイザー® 検定事務局

食生活アドバイザー

検索

フリーダイヤル 0120-86-3593 TEL 03-3371-3593

